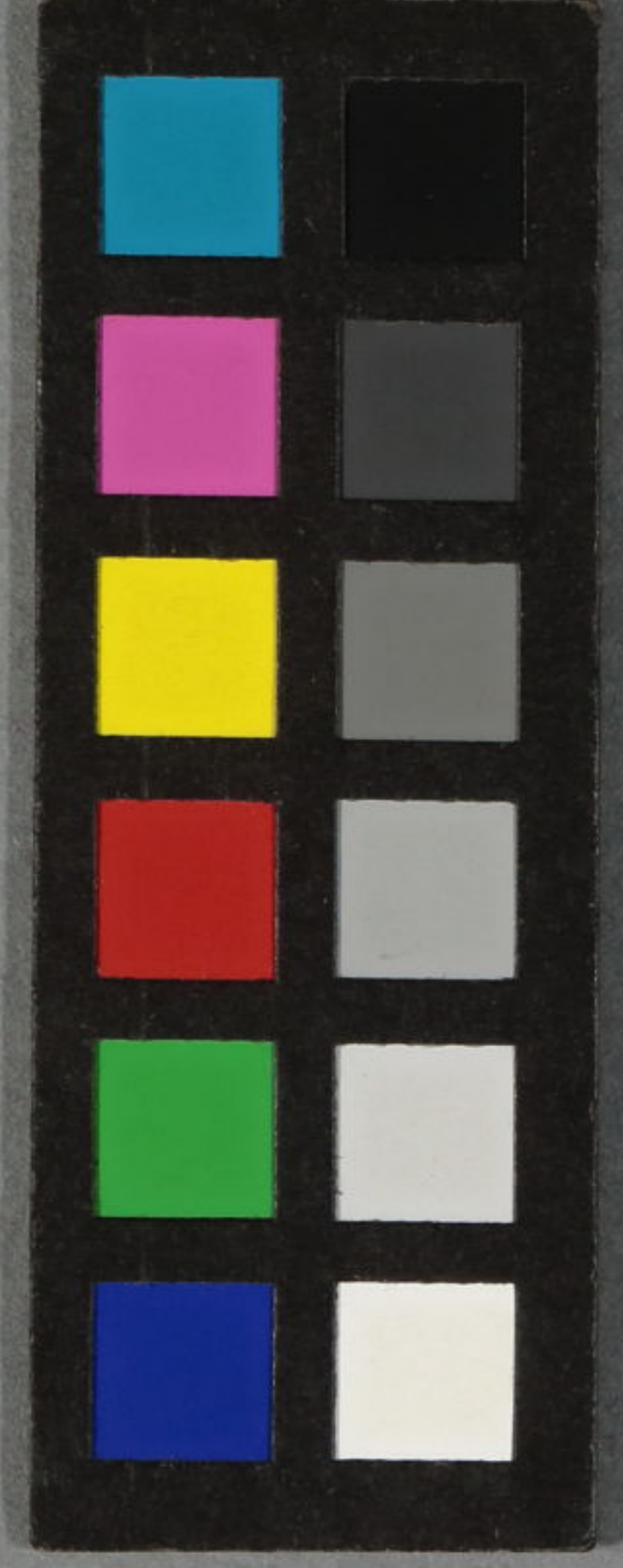
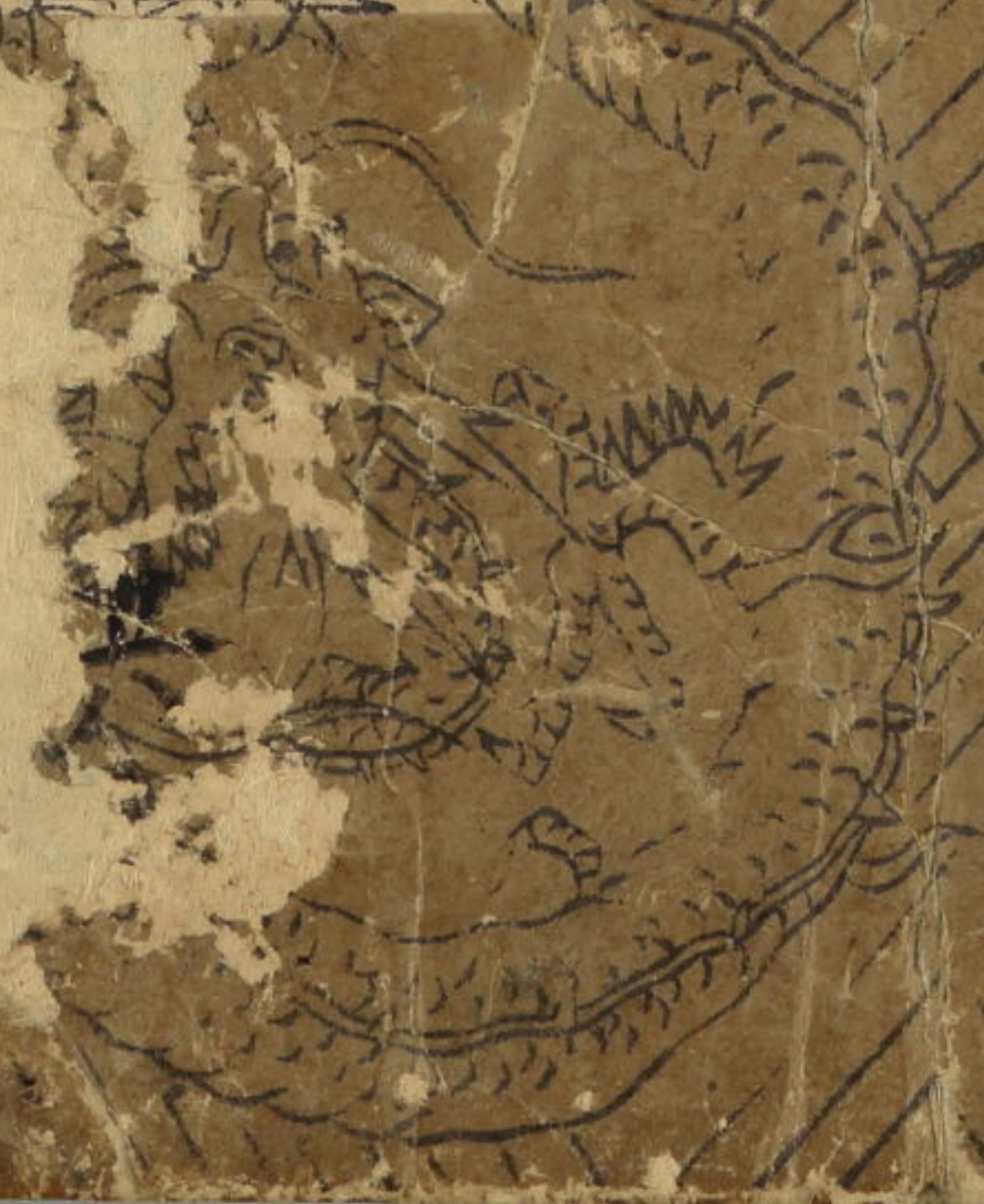


正政

通彙白

下







|   |    |    |    |    |   |   |    |    |    |   |   |
|---|----|----|----|----|---|---|----|----|----|---|---|
| 吉 | 二十 | 一百 | 五十 | 錢糧 | 解 | 吉 | 二十 | 一百 | 五十 | 造 | 起 |
|---|----|----|----|----|---|---|----|----|----|---|---|

|             |        |                                 |                                 |                                 |                                 |                                 |                                 |
|-------------|--------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 秋<br>冬<br>二 | 驚<br>時 | 叔<br>解<br>錢<br>糧<br>沒<br>是<br>非 | 子<br>孫<br>持<br>世<br>有<br>扶<br>持 | 朝<br>東<br>也<br>許<br>後<br>興<br>隆 | 坐<br>北<br>向<br>西<br>為<br>上<br>吉 | 世<br>高<br>應<br>下<br>事<br>多<br>濃 | 起<br>造<br>君<br>問<br>吉<br>與<br>凶 |
|-------------|--------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|

|                  |             |                                 |                                 |                                 |                                 |                                 |                                 |
|------------------|-------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 子<br>福<br>巍<br>々 | 何<br>足<br>慎 | 叔<br>解<br>錢<br>糧<br>沒<br>是<br>非 | 子<br>孫<br>持<br>世<br>有<br>扶<br>持 | 朝<br>東<br>也<br>許<br>後<br>興<br>隆 | 坐<br>北<br>向<br>西<br>為<br>上<br>吉 | 世<br>高<br>應<br>下<br>事<br>多<br>濃 | 起<br>造<br>君<br>問<br>吉<br>與<br>凶 |
|------------------|-------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|

Handwritten notes in cursive script at the bottom of the page.



[illegible]



吉 四 四 一百 五十 貴 現 害 三十 一百 五十 復 曉

君門求問未許問  
名疆利錄把人牽  
欲求安穩須少待  
耐到來春恰自然  
數中見貴十分歡  
出入求謀信有緣  
魚水相次今把臂  
東戎西就自天然

やうとわがそと  
うとくうう  
うとくうう  
うとくうう  
うとくうう  
うとくうう  
うとくうう  
うとくうう

吉 六 六十 一百 五十 狀 告 凶 五 五十 一百 五十 官 現

見官數內有多驚  
官鬼爻將應位臨  
若在冬時無足論  
春來夏到慎傷刑  
告狀數逢天水訟  
文書生世定批行  
喜得貴人多取力  
管教得勝所謀成

うとくうう  
うとくうう  
うとくうう  
うとくうう  
うとくうう  
うとくうう  
うとくうう  
うとくうう



詠狀

五千一百七十

四

春

五千二百八十

吉

詠辨之數不如情

勉強行之忌有利

待到逢冬方稱意

自今守靜也安寧

火天大有問春蚕

今載財源得萬金

西北陰人防冲犯

四眠無事謝蒼天

そとまじとあけそ  
うののそとまじそ  
うののそとまじそ  
うののそとまじそ

うののそとまじそ  
うののそとまじそ  
うののそとまじそ  
うののそとまじそ

うののそとまじそ  
うののそとまじそ  
うののそとまじそ  
うののそとまじそ

うののそとまじそ  
うののそとまじそ  
うののそとまじそ  
うののそとまじそ

うののそとまじそ  
うののそとまじそ  
うののそとまじそ  
うののそとまじそ

うののそとまじそ  
うののそとまじそ  
うののそとまじそ  
うののそとまじそ

うののそとまじそ  
うののそとまじそ  
うののそとまじそ  
うののそとまじそ

うののそとまじそ  
うののそとまじそ  
うののそとまじそ  
うののそとまじそ

天

五千二百八十

吉

行

五千二百八十

四

好朶奇花茂

鮮々結子佳

天花傳信至

動靜永無恙

文書臨位未為宜

出行切忌有災危

冬令占時還順利

如交秋節費奔馳

うののそとまじそ  
うののそとまじそ  
うののそとまじそ  
うののそとまじそ

うののそとまじそ  
うののそとまじそ  
うののそとまじそ  
うののそとまじそ

うののそとまじそ  
うののそとまじそ  
うののそとまじそ  
うののそとまじそ

うののそとまじそ  
うののそとまじそ  
うののそとまじそ  
うののそとまじそ

うののそとまじそ  
うののそとまじそ  
うののそとまじそ  
うののそとまじそ

うののそとまじそ  
うののそとまじそ  
うののそとまじそ  
うののそとまじそ

うののそとまじそ  
うののそとまじそ  
うののそとまじそ  
うののそとまじそ

うののそとまじそ  
うののそとまじそ  
うののそとまじそ  
うののそとまじそ



夢魂顛倒不須疑  
管教平安沒是非  
榴福難憑君夢寐  
日思夜夢總成虛  
世應比和數未良  
數占館地落空亡  
不如近地延今歲  
待到來春再主張

夢魂顛倒不須疑  
管教平安沒是非  
榴福難憑君夢寐  
日思夜夢總成虛  
世應比和數未良  
數占館地落空亡  
不如近地延今歲  
待到來春再主張

夢魂顛倒不須疑  
管教平安沒是非  
榴福難憑君夢寐  
日思夜夢總成虛  
世應比和數未良  
數占館地落空亡  
不如近地延今歲  
待到來春再主張

澤風大過兩重水  
君問秋成決稱懷  
早少水多禾稼熟  
高低兩處並無災  
子遲子早命中招  
且自安心莫要焦  
此事急求未易得  
海山僊菓結蟠桃

澤風大過兩重水  
君問秋成決稱懷  
早少水多禾稼熟  
高低兩處並無災  
子遲子早命中招  
且自安心莫要焦  
此事急求未易得  
海山僊菓結蟠桃

澤風大過兩重水  
君問秋成決稱懷  
早少水多禾稼熟  
高低兩處並無災  
子遲子早命中招  
且自安心莫要焦  
此事急求未易得  
海山僊菓結蟠桃



吉 七 二十 五十 八十 善

間非雖有不成兩  
渠水無色總是空  
只管寬心無所畏  
自然消釋似冰鎔  
鬼火持世忌逢生  
臨結官司未得寧  
如逢亥子辰申日  
方保人和樂太平

間非雖有不成兩  
渠水無色總是空  
只管寬心無所畏  
自然消釋似冰鎔  
鬼火持世忌逢生  
臨結官司未得寧  
如逢亥子辰申日  
方保人和樂太平

事和 二十 三十 四十 五十 六十 七十 八十 九十 百

土臨世位尅妻才  
君問求婚事不諧  
無子更嫌妻命促  
若還勉就決悲哀  
數丘和事亦然安  
子孫持世定生官  
若在冬時無足忌  
春秋遷畏小人言

土臨世位尅妻才  
君問求婚事不諧  
無子更嫌妻命促  
若還勉就決悲哀  
數丘和事亦然安  
子孫持世定生官  
若在冬時無足忌  
春秋遷畏小人言



吉 四十 五十 六十 七十 八十 九十 一百

子孫持世子星明  
占產逢之喜氣生  
母子相安無甚事  
定知坐草得安寧  
應來生世易尋人  
亥子丑日有信音  
不必東追及西趕  
依期日至咲飲々

子孫持世子星明  
占產逢之喜氣生  
母子相安無甚事  
定知坐草得安寧  
應來生世易尋人  
亥子丑日有信音  
不必東追及西趕  
依期日至咲飲々

吉 六十 七十 八十 九十 一百

遠望喜匆匆  
星明數自豐  
君來占買貨  
財利兩重々  
財源兩事與  
途中无阻滯  
遠近仕君行

遠望喜匆匆  
星明數自豐  
君來占買貨  
財利兩重々  
財源兩事與  
途中无阻滯  
遠近仕君行



吉 八 三 五 七 三 五 七  
 十 百 十 十 十 十 十

娶妻分明 妾貌才  
 到家大小 惹是災  
 不如且待 來春去  
 自有來人 說合來  
 交易白之 右此數  
 應來生我 主成交  
 若云利息 秋冬旺  
 事々相投 買賣高

てけとめくろく  
 くらひくくらく  
 くらひくくらく  
 くらひくくらく  
 くらひくくらく  
 くらひくくらく  
 くらひくくらく  
 くらひくくらく

吉 一 二 四 五  
 十 百 十 十

買屋占之 數也宜  
 功須作速 不應遲  
 春令傍人 爭買去  
 夏秋求買 十分奇  
 福神有怪 病難安  
 悔咎纏延 日夜煎  
 鬼祟北方 速進退  
 須知白病 々難痊

いあてふいふあ  
 ありふふふふ  
 ありふふふふ  
 ありふふふふ  
 ありふふふふ  
 ありふふふふ  
 ありふふふふ  
 ありふふふふ



|         |         |         |         |         |
|---------|---------|---------|---------|---------|
| 家       | 客       | 病       | 急       | 可       |
| 五十      | 四十      | 四十      | 四十      | 四十      |
| 内家重々口舌多 | 旺財起業從今日 | 才臨應世病難醫 | 兄弟纏延却要隨 | 急請正儀星退々 |
| 不如分散得安和 | 若不分家有折磨 |         |         |         |
| 可憐同氣折連枝 |         |         |         |         |

内家重々口舌多  
 旺財起業從今日  
 才臨應世病難醫  
 兄弟纏延却要隨  
 急請正儀星退々  
 可憐同氣折連枝

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 西 | 六 | 六 | 四 | 五 | 半 | 五 | 五 | 五 | 五 |
| 謹 | 服 | 氣 | 數 | 田 | 移 | 不 | 數 | 移 | 遷 |
| 防 | 菜 | 病 | 占 | 蚕 | 向 | 移 | 起 | 向 | 遷 |
| 申 | 稿 | 血 | 云 | 六 | 東 | 常 | 遷 | 東 | 遷 |
| 日 | 神 | 光 | 疫 | 畜 | 南 | 有 | 移 | 南 | 遷 |
| 聽 | 俱 | 兩 | 也 | 更 | 財 | 是 | 許 | 財 | 遷 |
| 悲 | 不 | 見 | 難 | 般 | 地 | 非 | 遂 | 地 | 遷 |
| 哀 | 効 | 之 | 醫 | 陣 | 旺 | 侵 | 心 | 旺 | 遷 |

謹防申日聽悲哀  
 服菜稿神俱不効  
 氣病血光兩見之  
 數占云疫也難醫  
 田蚕六畜更般陣  
 移向東南財地旺  
 不移常有是非侵  
 數起遷移許遂心  
 移向東南財地旺



悔

王千四百七十七

土

病子安

五千四百八十八

音

買田占之其生疑

管取田中利禄肥

只恐中人別買者

早當成就勿替遲

子女病患不爲殯

天医福相两事雙

急々求医并作福

保得無虞喜作當

因心とくまんと  
ひち

田子つるめ

三ノム

之令志者一也  
也人

ひさしこのやまへ  
まをらいう

りやふさうむじ  
とあやうくさいや

卷之八

夢入しつゝ

卷之四

五十五  
一百一十一

吉

考試

五千五百三十二

善

招婿徒勞枉費心

子孫受尅木爲飲

若未招之須別

此人招生福臨門

數主相孚喜氣多

文人占之擢高科

考官得之應高選

小試占之恐未和

此等事  
 二

もろく今くあつた  
りるどー

りたゞうゑに  
らぎだるゝのん

[illegible]

中よりとるべき

はまなす

一 とうきくづる

多きなり



えんのうしあひまきで  
 ちれがふとさうさふ  
 多くあふさうさふ  
 ちれがふとさうさふ  
 えんのうしあひまきで  
 ちれがふとさうさふ  
 えんのうしあひまきで  
 ちれがふとさうさふ

てんごにちるしめと  
まふちりし  
さくもの方より  
はつろ  
り又ぬきかへし  
わきのいぢとよ  
ひそりゆりな  
まぐり  
りらると又むと  
ろあう  
さくものころし  
えんのころし  
おんかくとひ  
まふあやかし



清明

廿四

特 五 五 七 七 壽 壽 吉 八 五 五 吉

子孫傷鬼及文書  
數見功名恐未知  
木火流年終大發  
自今體得問高低  
生平碌々必安然  
成敗初年信有干  
衣祿盈々無欠缺  
壽年八九又加三

いんまをあらふ  
あつちのまふ  
ひんそくはふ  
あつちのまふ  
あつちのまふ  
あつちのまふ  
あつちのまふ  
あつちのまふ  
あつちのまふ  
あつちのまふ

意 五 大 吉 吉 五 大 吉 吉 五 大 吉 吉

生意占此之數交  
世應相生歩々高  
若云利息秋冬旺  
事々生財喜氣饒  
開店占之不稱心  
尅強開之主有侵  
得利些微便收拾  
遲延久後本還傾

あつちのまふ  
あつちのまふ  
あつちのまふ  
あつちのまふ  
あつちのまふ  
あつちのまふ  
あつちのまふ  
あつちのまふ  
あつちのまふ  
あつちのまふ

清明

廿四



故債 五千 六百 三十 三十 丙 借債 五千 六百 四十 悔

君門放債非為喜  
既濟之中有未濟  
安心收舊莫妄為  
利息無多討憂慮  
借入錢債甚憂疑  
可奈傍人破句施  
盡餅充飢休指望  
不如收拾別尋思

君門放債非為喜  
既濟之中有未濟  
安心收舊莫妄為  
利息無多討憂慮  
借入錢債甚憂疑  
可奈傍人破句施  
盡餅充飢休指望  
不如收拾別尋思

求財 五千 六百 五十 吉 買牛 五千 六百 六十 丙

求財喜得貴人強  
世位逢財大吉昌  
信步求謀無阻隔  
日逢巳午獲千箱  
買牛買馬未回頭  
且自遲々莫妄求  
買得之時費心力  
還防走失及罔遊

求財喜得貴人強  
世位逢財大吉昌  
信步求謀無阻隔  
日逢巳午獲千箱  
買牛買馬未回頭  
且自遲々莫妄求  
買得之時費心力  
還防走失及罔遊

清明

三六



取財

去取財物得如情

去取財物得如情

五千

應來生世喜盈々

應來生世喜盈々

七十

壬子丑日應入午

壬子丑日應入午

吉

不須心苦自然寧

不須心苦自然寧

攻

白攻之數終無疑

白攻之數終無疑

五千

前有廬今後有溪

前有廬今後有溪

八十

庚是辰山井乾向

庚是辰山井乾向

貞

其餘山向不為奇

其餘山向不為奇

料

此數占來有吉星

此數占來有吉星

五千

不須妄用始安寧

不須妄用始安寧

七十

切須守舊終為吉

切須守舊終為吉

貞

何必忙々別處尋

何必忙々別處尋

失

失脫財物免憂心

失脫財物免憂心

五千

巳酉丑日人傳音

巳酉丑日人傳音

二十

申辰亥日見端的

申辰亥日見端的

貞

賊在東南扣井邊

賊在東南扣井邊



人

五千

七百

三十

客

家宅

五千

七百

四十

吉

行人數內未分明

いふなりてゆきさ  
さいくさうまふ

欲望行人到下旬

月のきふさう

總若來時無利息

きさうとこのぐく  
さくさう

還思路上有虛驚

きさうとこのぐく  
さくさう

家宅平々福德截

きさうとこのぐく  
さくさう

鬼父持世松為防

きさうとこのぐく  
さくさう

秋令問非見破耗

きさうとこのぐく  
さくさう

春災財源喜信揚

きさうとこのぐく  
さくさう

知君起數回卿去

きさうとこのぐく  
さくさう

三虫共食見筆張

きさうとこのぐく  
さくさう

若在秋時身可動

きさうとこのぐく  
さくさう

春隻二季最為良

きさうとこのぐく  
さくさう

子孫持世數為奇

きさうとこのぐく  
さくさう

君台合夥仕君為

きさうとこのぐく  
さくさう

旺財旺福多和氣

きさうとこのぐく  
さくさう

管鮑懷順世所稀

きさうとこのぐく  
さくさう

吉

きさうとこのぐく  
さくさう

六

きさうとこのぐく  
さくさう

六

きさうとこのぐく  
さくさう

七

きさうとこのぐく  
さくさう

五

きさうとこのぐく  
さくさう

吉

六



舊

五千

七百

七十

丙

卯

五千

七百

八十

吉

鬼父持世未為奇

守舊古之要見機

守到後來防福患

變更福祿自歸依

子孫持世數為高

自己災星不必焦

雖則纏延無大害

定知福壽得堅牢

吉

幾迴夢裏帶慙々

心事狐疑少定謀

數番長欲思更改

立意更之福自周

吉

求官未許遂君懷

帶合逢冲事未諧

春隻二季還圖可

如云冬令且延握

吉

善

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...







計  
數  
占  
討  
婢  
進  
家  
丁

五  
千  
八  
百  
七  
十  
七

各

門  
應  
相  
慰  
後  
來  
驚

五  
千  
八  
百  
八  
十

丙

數  
占  
討  
婢  
進  
家  
丁

福  
祿  
消  
々  
日  
自  
增

目  
下  
問  
非  
休  
聽  
信

一  
心  
辨  
價  
便  
交  
成

君  
入  
衛  
門  
恐  
不  
成

只  
宜  
守  
分  
別  
尋  
生

求  
財  
休  
向  
公  
門  
下

世  
應  
相  
慰  
後  
來  
驚

下  
く  
と  
く  
一  
人

と  
く  
と  
く

と  
く  
と  
く  
と  
く

と  
く  
と  
く  
と  
く

と  
く  
と  
く  
と  
く

と  
く  
と  
く  
と  
く

と  
く  
と  
く  
と  
く

と  
く  
と  
く  
と  
く

世  
應  
北  
和  
亦  
爲  
害

六  
千  
二  
百  
一  
十

辛

半  
吉

六  
千  
二  
百

吉

世  
應  
北  
和  
亦  
爲  
害

管  
取  
出  
門  
無  
損  
失

春  
時  
隻  
令  
福  
消  
々

秋  
令  
占  
之  
財  
少  
得

文  
書  
官  
鬼  
二  
星  
明

世  
位  
欣  
逢  
福  
德  
臨

歸  
結  
官  
司  
應  
有  
理

日  
逢  
申  
酉  
笑  
顏  
生

と  
く  
と  
く  
と  
く

と  
く  
と  
く  
と  
く

と  
く  
と  
く  
と  
く

と  
く  
と  
く  
と  
く

と  
く  
と  
く  
と  
く

と  
く  
と  
く  
と  
く

と  
く  
と  
く  
と  
く

と  
く  
と  
く  
と  
く



金

田獵

田疇耕種數非宜

恩とくふふ  
ふとふふふ

六十一

世位逢官有耗隨

うわやきふ

三十三

高忌早災低忌水

とらふ

丙

其年只計五分餘

子みんわきううのち

𪛗

樹正何愁日影斜

ふくまふくま

六千一百

是非口舌不須驚

卷之六

四四

貴人賜散難成訟

とんぼをあらう  
うらなうがごとく  
とんぼをあらう

土口

守己  
寒心莫怯他

三

銘

數占圖 詔不和同

中々

二千

此事應知不稱徒

ふふふにふふふ

五十四

枉費謀爲難見就

卷之五

丙

不如捨之別求營

一

天

天花之數檢無妨

卷之七  
 七

六千

禍相天醫兩事強

少なきを也

六十

亥子壬癸日漸好

のふやうにうへ

音

祈求作福保安康

非よいのうて、  
きんぐをいす。



求子

求子之數占未然

あやうき子うまれ

刑傷

刑傷尅害現初耳

あやうき子うまれ

後來

後來主有蝨蛉繼

あやうき子うまれ

晚景

晚景榮華福自添

あやうき子うまれ

夜長

夜長夢短捻浮雲

あやうき子うまれ

不比

不比狐疑問向神

あやうき子うまれ

若得

若得心安無俗慮

あやうき子うまれ

自然

自然夜寐也安寧

あやうき子うまれ

貞

求子

鬼父臨應喜相生

あやうき子うまれ

數主

數主求官定稱心

あやうき子うまれ

夏令

夏令春時應有遂

あやうき子うまれ

秋冬

秋冬略忌有憂驚

あやうき子うまれ

世應

世應文書雖上數

あやうき子うまれ

跟官

跟官只恐有爭差

あやうき子うまれ

越早

越早迴身別官運

あやうき子うまれ

免數

免數禍患及君家

あやうき子うまれ

吉



謀望

六千

三百

吉

進人

六千

二百

四

家

六千

二百

五

吉

改更

六千

六千

子孫臨應喜盈々

君問謀爲事称心

寅午戌年日月利

貴人當道賁襄成

吓唬子孫不上数

占問進人口非良

才臨應位生官鬼

口舌多端壽不長

音信應知子日來

如逢亥子一封開

家中事々俱平安

懸望君早々四街

無阻并無非

更改仕君爲

青龍爻象旺

財喜自相歸

のそくそくそく

ふりふりふり

ひひひひひひ

あひあひあひ

うううううう

ええええええ

えんえんえん

うううううう

ひひひひひひ

ひひひひひひ

ひひひひひひ

ひひひひひひ

ひひひひひひ

ひひひひひひ

ひひひひひひ

ひひひひひひ



功名

六千二百七十

半吉

謀差

六千二百八十

凶

功名際遇数逢成

世應相生最有縁

秋夏令中多遂意

春冬候至略纏延

謀差未許遂君情

應位逢兄主有爭

不宜鬼父臨世位

成事當見遇憂驚

功名際遇数逢成

世應相生最有縁

秋夏令中多遂意

春冬候至略纏延

謀差未許遂君情

應位逢兄主有爭

不宜鬼父臨世位

成事當見遇憂驚

考試

六千三百一十

悔

壽数

六千三百二十

吉

考試占之數欠利

文書重見有爭持

但可守常无悔吝

須知此事是便宜

三十年前事不佳

三十年後福无涯

欲知壽数長和短

花甲週迴半古稀

考試占之數欠利

文書重見有爭持

但可守常无悔吝

須知此事是便宜

三十年前事不佳

三十年後福无涯

欲知壽数長和短

花甲週迴半古稀



晴雨 六千 三百 三十 吉 科擧 六千 三百 四十 吉

離宮火旺大陽明  
數問天時主得晴  
雨以日多風拂々  
若逢亥子雨沉沉  
數占科擧喜洋洋  
官鬼文書兩字強  
定許高標龍虎榜  
那時身顯姓名香

いふらんらん  
あきららん  
それなり  
あきららん  
あきららん  
あきららん  
あきららん  
あきららん  
あきららん  
あきららん

運學 六千 三百 五十 吉 招婿 六千 三百 六十 吉

求官最忌子孫與  
入學逢之恐未成  
總使文光射牛斗  
場中不遇那文星  
招婿占逢有此數  
才星福德兩相交  
未濟之中終有濟  
晚年有靠樂豐饒

あきららん  
あきららん  
あきららん  
あきららん  
あきららん  
あきららん  
あきららん  
あきららん  
あきららん  
あきららん



|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 吉 | 八 | 十 | 三 | 六 | 運 | 凶 | 七 | 七 | 三 | 六 | 贊 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

鬼父无位未為欣  
要知廿命少天星  
入贊求塔自斟酌  
免致後日兩傷刑  
兀々窮年久待時  
幽窓寂々有誰知  
如今俞運將通泰  
求利求名仕爾施

うづらひてさう  
うづらひてさう  
うづらひてさう  
うづらひてさう  
うづらひてさう  
うづらひてさう  
うづらひてさう  
うづらひてさう

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 吉 | 二 | 十 | 四 | 六 | 轡 | 吉 | 一 | 十 | 四 | 六 | 失 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

失脱財物不須憂  
管取遺忘後得収  
寅卯亥日知端的  
一輪明月照狀頭  
世應重々臨父母  
自身之病主牽延  
幸遇天醫臨數内  
直交冬令保安痊

うづらひてさう  
うづらひてさう  
うづらひてさう  
うづらひてさう  
うづらひてさう  
うづらひてさう  
うづらひてさう  
うづらひてさう



吉 四千 四百 四千 六千 吉 四千 四百 四千 六千 吉 四千 四百 四千 六千 吉 四千 四百 四千 六千

世越應父無阻隔  
回鄉此數問非宜  
福相妻才俱上見  
路逢平坦勿憂疑  
君占守旧事中平  
朱雀臨爻數未明  
且待遲々方遂意  
定然福祿兩安寧

世越應父無阻隔  
回鄉此數問非宜  
福相妻才俱上見  
路逢平坦勿憂疑  
君占守旧事中平  
朱雀臨爻數未明  
且待遲々方遂意  
定然福祿兩安寧

凶 六千 四千 六千 吉 六千 四千 六千 吉 六千 四千 六千 吉 六千 四千 六千 吉 六千 四千 六千

數云家宅十分強  
夫旺妻生福祿康  
非悔有此无足慮  
夏秋便有外財香  
問數求医服藥  
一時難得安全  
幸得惡星過度  
何愁壽不高昌

數云家宅十分強  
夫旺妻生福祿康  
非悔有此无足慮  
夏秋便有外財香  
問數求医服藥  
一時難得安全  
幸得惡星過度  
何愁壽不高昌



合夥

六千四百七十

吉

人行

六千四百八十

吉

合夥經采數也奇

不須疑聽慮閑非

春冬二季生涯美

出外居家摠得宜

行人不有信音來

財破文書枉自猜

冬令庚申方得遇

門迎喜氣咲顏開

よろめいあきあき

よろめいあきあき

ひやうくくく

あひまき

あきあき

あきあき

あきあき

あきあき

六千四百一十

悔

六千四百一十

吉

吉

六父無鬼病安難

父母重災不尋閑

急請四方醫者治

早宜保福呬蒼天

父母惟其疾之憂

世位逢兄不必愁

寅午戌日漸々好

城隍福愿也須求

あきあき

あきあき

あきあき

あきあき

あきあき

あきあき

あきあき

あきあき

清明

七



廣邀

六千五百三十三

悔

田豐

四 四 五 六  
十 十 百 千

香

病

六千  
五百  
五十  
五

土口

屋貫

六千 五百 六十 六

土口

起數按居不多移

移時反見有高低

雖然目下財虛耗

待まち到いた秋あき冬ふゆ事こと々々宜よろ

買田問數定斷詳

許君買貨十分強

中人頗得相扶しんあんとすまひあひたす力ちから

寅午戌日好商量

君起兄弟數如何

官鬼星明印授多

錐則淹纏無大害

亥子丑日保安和

文書重見數爲四

君占買屋且從容

成時徒發財源旺

三十年餘大啓隆

わきとろす

りていなり

りのもちよふ

あまのあまのあまの

田城とうつゝまぢや  
トスル

ぐんぎん

とつてゐるやうな  
けつをむかふとあら

きりしまの  
うし

くろく

さんど白あり

ちんれとまがひさ  
たろのうひち

のなうのふあん  
をいふとさうす

うんあふりきひえう  
あふりきひえうに

しんくわり

三才圖會

三十九年九月



病

六千五百七十

吉

家

六千五百八十

吉

八

解

六千六百一十

善

蠶

六千六百二十

負

二

來占妻病問如何

鬼父臨應管灾磨

抑且妻才無上数

祈求作福速安和

君今立意問分家

人事如添錦上花

若是目前防口舌

從今分後樂華榮

子孫持世可相從

雖然人事多奔走

利息微々稍運通

起数春蚕見六合

子孫持世旺財源

門迎福相多通泰

無冲無犯甚安全

つきのうへと

ふさひありそ

ふさひありそ

ふさひありそ

ふさひありそ

ふさひありそ

ふさひありそ

ふさひありそ

ふさひありそ

ふさひありそ

ふさひありそ

ふさひありそ

ふさひありそ

ふさひありそ



見官

見官欲見又不見

見官欲見又不見

六十六

見官欲見又不見

見官欲見又不見

三十三

見官欲見又不見

見官欲見又不見

六十六

見官欲見又不見

見官欲見又不見

六十六

見官欲見又不見

見官欲見又不見

六十六

見官欲見又不見

見官欲見又不見

六十六

見官欲見又不見

見官欲見又不見

六十六

見官欲見又不見

見官欲見又不見

六十六

見官欲見又不見

見官欲見又不見

六十六

見官欲見又不見

見官欲見又不見

六十六

見官欲見又不見

見官欲見又不見

六十六

見官欲見又不見

見官欲見又不見

六十六

見官欲見又不見

見官欲見又不見

六十六

見官欲見又不見

見官欲見又不見

六十六

見官欲見又不見

見官欲見又不見

六十六

見官欲見又不見

見官欲見又不見

六十六

見官欲見又不見

見官欲見又不見

精

十一



告狀 六千六百七十 吉 脫 六千六百八十 悔

告狀起數天水訟  
文書應位喜相逢  
戊巳戊日文書動  
定主親提斷得贏  
脫役之數未足誇  
鬼欠持世有爭荒  
只宜謹督加商議  
肯到秋來始脫他

つげやうと天の訟  
のりひ  
うらふふふふふ  
つらふふふふふ  
のふふふふふ  
ふふふふふ  
ふふふふふ  
ふふふふふ

開 六千七百一十 西 六千七百二十 吉

鬼欠持世事非寧  
開店問數且莫行  
抑且福神不上數  
才欠無氣免經營  
台坎起數損偏安  
龍虎相生合巽乾  
出水右情風水義  
子孫後代福綿々

ふふふふふふふ  
ふふふふふふふ  
ふふふふふふふ  
ふふふふふふふ  
ふふふふふふふ  
ふふふふふふふ  
ふふふふふふふ

清明

十一



求財

六十 七十 三十

吉

娶財

六十 七十 四十

吉

錢財不可獨求之

兩人同做好媒施

亥子丑日三分利

餘月逢之恐未宜

妻才持世好謀為

取討應知必獲歸

若在春時有阻隔

冬初秋末事非遲

錢財不可獨求之

兩人同做好媒施

亥子丑日三分利

餘月逢之恐未宜

妻才持世好謀為

取討應知必獲歸

若在春時有阻隔

冬初秋末事非遲

借債

六十 七十 五十

吉

壁意

六十 七十 六十

吉

欲借人財來起數

先前許你後因怨

被人破句猶他折

辰戌丑日在佳音

生意如石中藏玉

求財似浪裏淘金

目將運至福當生

財氣光輝必定隨

欲借人財來起數

先前許你後因怨

被人破句猶他折

辰戌丑日在佳音

生意如石中藏玉

求財似浪裏淘金

目將運至福當生

財氣光輝必定隨



馬

六千七百七十

吉

放債

六千七百八十

吉

和事

六千八百一十

吉

交易

六千八百二十

凶

買牛買馬增培錢

得力妻才救上全

今逢伯樂知驥驥

物主相救信有緣

子孫持世旺才源

放債占之信有緣

數上重々財利益

秋物冬末可團宴

起數欣然逆兩情

兩平公論可休寧

私和不及官和義

省得息來有再生

賣貨難逢買貨人

數占交易不如情

若在秋冬無可望

如云目下恐難成

買牛買馬增培錢

得力妻才救上全

今逢伯樂知驥驥

物主相救信有緣

子孫持世旺才源

放債占之信有緣

數上重々財利益

秋物冬末可團宴

起數欣然逆兩情

兩平公論可休寧

私和不及官和義

省得息來有再生

賣貨難逢買貨人

數占交易不如情

若在秋冬無可望

如云目下恐難成

清明

十五



置貨 六千八百三十 吉 取 六千八百四十 丙

置貨占之有此數  
應來生世主成交  
若云利息何時旺  
事々相投資賣高  
取妾非宜問此數  
應逢隅角免勞神  
總便娶來多不足  
還防家下起刀兵

いふことありあ  
しきことありあ  
とくことありあ  
ふいふことありあ  
ふいふことありあ  
ふいふことありあ  
ふいふことありあ  
ふいふことありあ

六千八百五十 吉 六千八百六十 丙

世應比和免賞心  
尋人斷許得相親  
待到寅辰亥子日  
定主相逢咲語頻  
求婚占之恐非宜  
官鬼重々有是非  
或是重婚并再聚  
先前尅遇許君爲

いふことありあ  
しきことありあ  
とくことありあ  
ふいふことありあ  
ふいふことありあ  
ふいふことありあ  
ふいふことありあ  
ふいふことありあ

清明

六



濟明

臆 貨 六千 八百 七十

官鬼持世事亦安

うきとくすし

辰 申 巳 亥 財 利 旺

脱貨之數不見全

まろくろ今

貴 人 得 力 許 君 錢

辰申巳亥財利旺

うきとくすし

世 位 逢 冲 數 未 冲

貴人得力許君錢

うきとくすし

君 占 孕 育 枉 勞 功

世位逢冲數未冲

うきとくすし

已 酉 丑 日 應 當 產

君占孕育枉勞功

うきとくすし

子 女 難 全 保 母 躬

已酉丑日應當產

うきとくすし

要 迎 貴 人 防 險 做

子女難全保母躬

うきとくすし

問 進 衛 門 端 有 助

要迎貴人防險做

うきとくすし

世 高 應 供 主 得 情

問進衛門端有助

うきとくすし

得 後 成 家 并 見 富

世高應供主得情

うきとくすし

起 數 謀 差 得 貴 人

得後成家并見富

うきとくすし

子 孫 持 世 喜 欣 々

起數謀差得貴人

うきとくすし

十 分 射 利 如 君 意

子孫持世喜欣々

うきとくすし

出 入 經 義 共 太 平

十分射利如君意

うきとくすし

吉

出入經義共太平

うきとくすし

濟明

二



家信

七百三十

凶

功名

七百四十

吉

教云家信甚難得

此數文書又無力

鴻便春冬々季傳

夏秋杳然無信息

起數功名許介為

文書官鬼兩交輝

無望之中終有望

自今破耗不須疑

リ人さきとふん

くくろ

くくろ

くくろ

くくろ

くくろ

くくろ

くくろ

文書

七百五十

凶

文書

七百六十

吉

文書持世子孫傍

問數奴僕不為良

更忌問非并失脫

功夫休得妄奔忙

文書持世可求官

若在秋冬謀必安

只恐春時有阻滯

北方官鬼可相干

くくろ

くくろ

くくろ

くくろ

くくろ

くくろ

くくろ

くくろ



更改

文書臨應未為宜

久あつたうう

七十七

且待遲々方是吉

とくまふり

負

貴人協力有扶持

ふんのかう

望謝

數内知君得遂情

のうかう

七十七

貴人當道喜相生

ふんのかう

八百

寅午戌日事完美

とくまふり

吉

冬今春時福也増

ふんのかう

賜

子孫持世旺財皇

ふんのかう

七十七

交易數來主決成

ふんのかう

一百

居間得力能扶助

ふんのかう

吉

事有便宜勿少停

ふんのかう

生

兩重父母一重才

ふんのかう

七十七

起數妻官定有灾

ふんのかう

二百

冬令生男夏生女

ふんのかう

凶

虛驚不免事榮懷

ふんのかう

清明

七



尋人 七千二百三十三

吉 三十三

脫貨 七千二百四十

吉 七千二百四十

娶妻 七千二百五十

小吉 七千二百五十

和事 七千二百六十

客 七千二百六十

路上尋人々便見

世應相指半路中

木畔水邊相聚首

人財兩見喜忽々

脫貨占之值此數

應來生世主成交

亥卯未成財利旺

主客相投買賣高

起歡取妻事如何

女貌清奇艷麗多

千葉石榴難結子

若論造化在家和

和事應知不遂情

閉門莫管免憂驚

世位逢才能取鬼

但憑官斷喜相迎

人々便見

半路中

相聚首

喜忽々

值此數

主成交

財利旺

買賣高

事如何

艷麗多

難結子

在家和

不遂情

免憂驚

能取鬼

喜相迎



求日 七千 二百 七十

吉 七千 二百 七十

還 七千 二百 七十

八千 二百 七十

只

姻事占之數也高

世應相生福自饒

夫婿齊眉家業盛

花多子少命中招

兄臨世位尅妻才

君占置貨未為諧

莫聽傍人講虛話

只宜守舊省疑猜

...

...

...

...

...

...

...

病 七千 二百 七十

凶 七千 二百 七十

分 七千 二百 七十

吉 七千 二百 七十

吉 七千 二百 七十

問兒問女病蹺蹊

只恐命中心保不牢

父母重々傷福相

求神禳解狂徒勞

古來樹大必分枝

君問分家任爾施

雖是目前景多口舌

分後方知兩便舒

...

...

...

...

...

...

...



病

兄弟有病不爲凶

さうぞうのやうに  
わうぞう

七百三十

福相 官父喜見冲

あきさうありき  
こびわうりき

三十三

寅卯亥子漸々愈

とくういふの良  
やういふ

十四

舊神才破可安窮

邦よりありて  
 くむと書ん

病毒

病體占之不暫離

つきの書みし  
ふより

七百三

敬來神數問高低

秋七月

四十

西方醫藥多功效

かのきぬやしの  
きぬやしの

土口

病退心安家可やまひありてこころやすくつかへし 齊しなふ

やうしんちうぎく  
きくしんちうぎく

田豐

買田占數也非宜

因とく今とく  
くさにあず

七千

官鬼星強有是非

子

十

買得之時无大利

久遠に王女を

四

根多差重免成之

そまゝに

病

父ちち母はは灾わざ星ほし嗣つぎ子こ憂うれ

ちんちんあひ子  
ちんちんあひ子

七百

浪知人命穩不須愁

わづめぐず

六十六

家神司會應祈吉

しそふのふ

吉

災退无慮

中



豐屋

七千三百七十

悔

遷移

七千三百八十

吉

世來生應不為宜

若是成之有是非

買屋占之宜緩處

遲中自有好施為

君來起數定移居

欲不遷之見是非

彼此財源應有望

移之生意得相宜

世來生應不為宜

若是成之有是非

買屋占之宜緩處

遲中自有好施為

君來起數定移居

欲不遷之見是非

彼此財源應有望

移之生意得相宜

吉

七千四百一十

吉

起

七千四百二十

吉

凶

白坎起數主平安

水結山環合巽乾

華後來寵多庇蔭

人財兩旺福綿々

起數歸魂恐未宜

君占放債主奔馳

春夏數中許有利

秋冬放去有相虧

白坎起數主平安

水結山環合巽乾

華後來寵多庇蔭

人財兩旺福綿々

起數歸魂恐未宜

君占放債主奔馳

春夏數中許有利

秋冬放去有相虧



借債

七千四百三十

吉

馬

七千四百四十

悔

借入錢債數占豐

管取求謀事々通

寅卯亥白應入千

主賓相接喜忽々

八純震數兩重才

占買六畜不如懷

更有中間不得力

事將成就又牽開

八千七百四十

八千七百四十

八千七百四十

八千七百四十

八千七百四十

八千七百四十

八千七百四十

八千七百四十

物

七千四百五十

吉

吉

七千四百六十

凶

財物取討復扣人

即委他人不負心

寅卯戌日應入牛

教君得意滿懷襟

數云開店不如心

隅角臨開財被侵

鬼在應文多尅耗

不依數斷本難尋

八千七百四十

八千七百四十

八千七百四十

八千七百四十

八千七百四十

八千七百四十

八千七百四十

八千七百四十



生 意 七 十 四 百 七 十 吉 求 財 七 十 四 百 八 十 內

子孫持世旺財星  
生意占之最稱心  
目下遲々少利息  
去後經管也大平  
數中重見問求財  
不知守舊且安懷  
春夏逢之度可望  
秋冬无利免疑猜

おそん世よりうき  
さゝのうきうき  
あゝうきうき  
うきふ  
目のまじきうき  
のりうきうき  
うきうき  
うきうき  
うきうき  
うきうき

婦 巳 七 十 五 百 一 十 害 行 人 七 十 五 百 二 十 貞

六爻无鬼病纏延  
作福祿妨枉賞錢  
要得痊安丑戌日  
耐心調理莫憂煎  
行人來早與遲來  
數内分明說與知  
亥卯未月迎門咲  
財喜臨身有伴歸

六爻无鬼病纏延  
作福祿妨枉賞錢  
要得痊安丑戌日  
耐心調理莫憂煎  
行人來早與遲來  
數内分明說與知  
亥卯未月迎門咲  
財喜臨身有伴歸



家宅

七千五百三十

吝

給

七千五百四十

害

數云家宅事為歡

老者康寧少者安

官鬼文書有動發

神明護持免憂煩

合財經計々君為

財父持世生欣會

夏秋二季獲財卿

春未冬初生退悔

いふなり

りよりあんを余

えんやうして

のち

いふなり

よりいふなり

よりいふなり

よりいふなり

世

七千五百五十

吉

失物

七千五百六十

吉

世財應父无阻滯

守舊占之也可宜

福祿妻財俱上數

下稍平穩免憂疑

失脫財物免憂心

家財難防仔細尋

水命人叔田畔住

巳酉丑日見原因

よりいふなり

よりいふなり

よりいふなり

よりいふなり

よりいふなり

よりいふなり

よりいふなり

よりいふなり



求 七千五百七十 吉 四千五百八十 各

數内天醫在北方  
君家請診脉安康  
若逢甲子庚申日  
修齋礼懺謝穹蒼  
世應比和數為奇  
回家占此喜无慮  
到家日後間非見  
見機而作免櫻非

このめりうのや  
よりとびい  
きくきく  
このめりうのや  
このめりうのや  
このめりうのや  
このめりうのや  
このめりうのや

事 七千六百一十 各 七千六百一十 貞

子孫持世保安寧  
婦結官司主太平  
春令占之防不足  
秋時冬令主憂驚  
夢裏蹊蹺寔不詳  
交財取友間相傷  
戊巳丑日間非見  
凡事安心自主張

このめりうのや  
このめりうのや  
このめりうのや  
このめりうのや  
このめりうのや  
このめりうのや  
このめりうのや  
このめりうのや



吉 七千 六百 三十

吉 七千 六百 三十

吉 七千 六百 三十

吉 七千 六百 三十

吉 七千 六百 三十

吉 七千 六百 三十

吉 七千 六百 三十

吉 七千 六百 三十

吉 七千 六百 三十

君占尋館十八便

管取今年勝舊年

賓主投機多利祿

定知利見大人前

君問求子數逢此

父母星強壯子孫

要見弄璋用取妾

夢蘭喜事耀門庭

口古問非不必論

やととろろとふ

ろの地とふ

ろの地とふ

ろの地とふ

ろの地とふ

ろの地とふ

ろの地とふ

ろの地とふ

ろの地とふ

吉 七千 六百 三十

吉 七千 六百 三十

吉 七千 六百 三十

吉 七千 六百 三十

吉 七千 六百 三十

吉 七千 六百 三十

吉 七千 六百 三十

吉 七千 六百 三十

吉 七千 六百 三十

虎頭蛇尾終无憚

好似長夫一尺雲

弟兄持世未為安

不如守已免延遭

君問出行无大故

但防破耗不周全

吉 七千 六百 三十

吉 七千 六百 三十

吉 七千 六百 三十

ろの地とふ

ろの地とふ

ろの地とふ

ろの地とふ

ろの地とふ

ろの地とふ

ろの地とふ

ろの地とふ

ろの地とふ



天之花

七千六百七十

吉

秋

七千六百八十

害

子女天花信有之

五行相配定无愿

寅牛戌日灾星退

祈福作福保安如

秋收占此數中平

不荒不熟半收成

早禾不及中禾獲

晴多雨少數分明

子孫昌盛

五行相生

寅牛戌日

祈福作福

秋收占此

不荒不熟

早禾不及

晴多雨少

春蚕

七千一百一十

吉

秋

七千七百二十

悔

春蚕宜少不宜多

家中口舌要安和

若是蚕多桑葉少

財祿平々受折磨

起數脫役應官矣

此事應知得有緣

書案傍延疑得利

貴人分付許間々

春蚕宜少

家中口舌

若是蚕多

財祿平々

起數脫役

此事應知

書案傍延

貴人分付



清明

見貴

七十 七十 三十

悔

告狀

七十 七十 四十

吉

見貴問數有未然

兄逢應位恐无縁

不如退歩体碌々

別處當謀省費煩

告狀占之許太平

先凶後吉自分明

亥子丑日宜告進

貴人作主便批行

見貴人問數有未然

兄逢應位恐无縁

不如退歩体碌々

別處當謀省費煩

告狀占之許太平

先凶後吉自分明

亥子丑日宜告進

貴人作主便批行

訴狀

七十 七十 五十

五

小吉

解銀

七十 七十 六十

吉

三虫共食未為宜

訴辨起勞多費詞

目下安心且耐々

冬來謀望有扶持

子孫持世會謀為

收解銀糧沒是非

主得貴人相助力

領文掛號兩相宜

三虫共食未為宜

訴辨起勞多費詞

目下安心且耐々

冬來謀望有扶持

子孫持世會謀為

收解銀糧沒是非

主得貴人相助力

領文掛號兩相宜



起屋

七千七百七十

吉

官規

七千七百八十

吉

子孫臨應福神強

起告占之大吉昌

立宅之後多與旺

兒孫後茂探花郎

見官何事若傍徨

一見猶如雪點湯

見後反來多順理

先凶後吉保康寧

子孫臨應福神強

起告占之大吉昌

立宅之後多與旺

兒孫後茂探花郎

見官何事若傍徨

一見猶如雪點湯

見後反來多順理

先凶後吉保康寧

壽

七千八百一十

吉

金運

七千八百二十

貞

早年運氣不為佳  
半限却嫌不順些  
老運相神方發福  
八旬前此始乘槎

金運在之數不如

巡環運道定无差

穷通得失皆由命

許你當謀任意施

早年運氣不為佳

金運在之數不如

巡環運道定无差

穷通得失皆由命

許你當謀任意施

清明

百十



進學

七百八十

吉

贊

七百八十

丙

鬼父持世可求名

くゆんてくを

進學占之決種心

しんがくを

泮水登榮萊薦拔

はんすいとうり

貴人扶助顯文書

きじんふたし

君占入贅未為奇

きんを

隅角重逢有是非

ぐかくを

女命再夫并壽促

にょめを

不如別選仕施為

ふたを

辨釋

七百八十

吉

考試

七百八十

客

一舉成名在此時

いっくを

不須疑惑向雲梯

ふしんを

賓與再寡呼先進

ひんを

顯祖榮宗洵有期

けんを

才父持世子星明

さいを

考試其中事未寧

かうを

秋冬度幾无害事

あきを

春初功忌比肩侵

はるを

清目

清目



借

七千八百七十

吉

雨

七千八百八十

貞

招僭占之數最奇

子孫持世有扶持

諫中受益財星旺

親者為嫌不用疑

子孫持世水之源

占雨求之信不難

若問天晴々不久

定知雨水久連綿

生

八千一百一十

吉

賈

八千一百二十

吉

數占孕之主无情

男生冬令女生春

申辰子白臨益吉

坐草無虞樂太平

子孫持世事无憂

買貨占之事可謀

出入貴人俱得力

諸般作事有來由

清

皇

清

皇



男婚

女婚

中

求

吉

男婚可遂

女婚可遂

金水二命方為吉

餘命逢之尚未寧

求婚自此數為良

幣帛妻才並見彰

宮取齋肴多福相

兒孫須產錦衣郎

男婚可遂

女婚可遂

金水二命方為吉

餘命逢之尚未寧

求婚自此數為良

幣帛妻才並見彰

宮取齋肴多福相

兒孫須產錦衣郎

男婚

女婚

吉

易

告

天時地利兩和諧

脫貨求財喜路開

辰申巳午方逢順

人財物用一齋來

交易自此數為

應來尅世主成交

雖然利息平々過

脫貨求財做此遭

天時地利兩和諧

脫貨求財喜路開

辰申巳午方逢順

人財物用一齋來

交易自此數為

應來尅世主成交

雖然利息平々過

脫貨求財做此遭



清明

吉 八千 一百 七十

吉 八千 一百 七十

吉 八千 一百 七十

吉 八千 一百 七十

吉 八千 一百 七十

兩重兄弟兩重官

此事應知和不圖

各到公庭明斷理

自然兩下冬心安

尋人不必若躊躇

世位逢才去不歸

辰戌丑未知端的

莫聽與人講是非

わんさのそくこくそ

んさのそくこくそ

んさのそくこくそ

んさのそくこくそ

んさのそくこくそ

んさのそくこくそ

んさのそくこくそ

んさのそくこくそ

命 通 八千 一百 七十

吉 八千 一百 七十

吉 八千 一百 七十

吉 八千 一百 七十

吉 八千 一百 七十

命連占之數最奇

子孫持世福星隨

恰如大旱逢甘雨

因極當亭正此時

金能生水兩海々

四野田禾盡足落

若問天晴看寅午

臨軒翹首望東暹

わんさのそくこくそ

んさのそくこくそ

んさのそくこくそ

んさのそくこくそ

んさのそくこくそ

んさのそくこくそ

んさのそくこくそ

んさのそくこくそ



卷之六

木氣木林々貫斗塵

あふさふさ  
うれう

八百二十

青雲平步陟斯時

わとろにのろくと

三

天爵好求人爵在

あはれきうき

吉

果然不負志男兒

人々をけりて

招僊

起數招婿且躊躇

しとあそ

八百三

世應比和世位低

世  
 一  
 子  
 子  
 子

四 十

凡事皆由忙裏錯

三つ又三つ

小土

運令 別選 供 州

うそく

入

才又天无氣不爲奇

おやうぢやう

三

入贅連姉右是非

まふちあて

五

夫<sup>う</sup>歸<sup>ふ</sup>鳥<sup>きう</sup>能<sup>よそん</sup>汝<sup>そく</sup>唱<sup>う</sup>道<sup>しやう</sup>

少子あり

博

福神衰弱未爲宜

とてふてふ

新

後九如同前九崎

うみかみ

六十一

六十二難再越

幸三あうと  
ううう

生

一病黃泉不怨渠

かきつね

卷之六

A close-up photograph of the fore-edge of a book. The binding material, likely leather or a similar dark material, is visible on the left. The edges of the pages are visible, showing some discoloration and wear. The text on the pages is not clearly legible in this view.



廣明

考

鬼父持世兩文書

母のうろちあふ

試

考試占之喜有餘

うろちあふ

吉

利見入人表薦校

うろちあふ

吉

有名輝々耀門問

うろちあふ

進

太書无氣數非憂

うろちあふ

學

應位逢兄事未周

うろちあふ

八

若望姓名登泮籍

うろちあふ

貞

若回胞下再埋頭

うろちあふ

人

火夫太有問行人

上離のりト靴の

音

信遙々未得直

うろちあふ

他

他要急來二不便

うろちあふ

要

來須看用中句

うろちあふ

君

問回卿來請數

うろちあふ

子

孫持世速無輶

うろちあふ

定

教伴侶逢知已

うろちあふ

一

路平安莫惜勞

うろちあふ

吉



清

百十七

舊字

青龍欠不旺

八千

守舊事平々

三十一

且待時來至

吉

財喜得安寧

求鑿

汝欲求醫且待時

八百

莫嫌藥力大 稽首遲

四

喜逢各亢氏房日

吉

平安兩字報君知

やうきとまうらん  
かりわしうてあ  
まてまうてと  
やう  
まうてまうて  
いふ  
とらこわん  
う  
いふてらん  
ふ  
やうきとまうらん  
かりわしうてあ  
まてまうてと  
やう  
まうてまうて  
いふ  
とらこわん  
う  
いふてらん  
ふ

歸餘

合夥求財數味宜

八百

恐防日後有支離

五

夏秋二季雖得利

五

若待三冬主損伊

病記

自身病勢不須憂

八千三百

月逮臨之福壽週

六十六

須向東南延國手

六  
土口

三朝一七樂優々

[illegible]

卷五

卷之四







狀部 八千四百三十三 吉 越 八千四百四十四 凶

訴辨應知得理論  
文書官鬼兩分明  
脫羅減賊官得便  
後來方覺數通靈  
起屋白之有未宜  
地基未穩且躊躇  
春令白之猶是可  
秋冬功莫去胡為

いふやうに  
あがのうら  
うらうら  
のらうら  
いふやうに  
あがのうら  
うらうら  
のらうら  
いふやうに  
あがのうら  
うらうら  
のらうら

狀部 八千四百五十五 吉 齋 八千四百六十六 吉

告狀白之主遇怕  
文書官鬼兩相生  
應來生世他生我  
此狀進之必得贏  
先天神數問春蚕  
子明財旺遇豐年  
蚕娘松要堅心守  
不失手事得萬金

いふやうに  
あがのうら  
うらうら  
のらうら  
いふやうに  
あがのうら  
うらうら  
のらうら  
いふやうに  
あがのうら  
うらうら  
のらうら

請明

請明



無類

八千四百七十

吉

貴

八千四百八十

凶

貴人持世喜盈々

貴人持世喜盈々

問數錢糧解得清

問數錢糧解得清

上和下睦多相取

上和下睦多相取

路途无阻太平行

路途无阻太平行

世位逢財雖得吉

世位逢財雖得吉

兄弟臨問恐不如

兄弟臨問恐不如

見貴也知无大利

見貴也知无大利

不知不見是便宜

不知不見是便宜

放債

八千五百一十

凶

求財

八千八百二十

吉

放債白之數未宜

放債白之數未宜

獨嫌世位旺文書

獨嫌世位旺文書

後悔爭差近不得

後悔爭差近不得

何知休放省奔馳

何知休放省奔馳

求財問數遇小畜

求財問數遇小畜

官取經營遇所圖

官取經營遇所圖

出入貴人應得濟

出入貴人應得濟

重々財喜有扶持

重々財喜有扶持

通明

通明











進

占討奴婢教為良

下人のうとく

六

進你門庭主久良

ひくむあつて

三

莫所間言求煽惑

あつてあつて

吉

管教日後福相當

あつてあつて

改更

君占更改事難成

あつてあつて

八

更得之時也稱心

あつてあつて

六

久後自得貴人カ

あつてあつて

四

安然財禄定豐盈

あつてあつて

吉

文書官鬼兩相生

あつてあつて

八

欲取功名早進程

あつてあつて

六

財旺官生官有靠

あつてあつて

五

定教指日主安寧

あつてあつて

吉

公門莫入是高人

あつてあつて

八

古云狼虎怎相親

あつてあつて

六

應位逢冲有險厄

あつてあつて

六

若還在內早抽身

あつてあつて

吉



官職

八千六百七十

信家凶

八千六百八十

吉

求<sub>レ</sub>官<sub>レ</sub>春<sub>レ</sub>是喜<sub>レ</sub>洋々  
若<sub>レ</sub>到<sub>二</sub>秋<sub>一</sub>冬<sub>一</sub>定有<sub>レ</sub>傷  
夏<sub>一</sub>令<sub>レ</sub>占<sub>レ</sub>之<sub>一</sub>宜<sub>二</sub>急<sub>一</sub>去  
如<sub>レ</sub>云<sub>一</sub>冬<sub>一</sub>令<sub>レ</sub>且<sub>レ</sub>休<sub>一</sub>忙

せんどのありき  
 せんどのありき  
 わきとありき  
 せんどのありき  
 せんどのありき

才父臨應尅文書

まろねびんざと

家信中途遇雁魚

とてふる久  
くくさるる

夏令春是應有信

五ノ

夢夜

八千七百一十一

告種田

八千七百二十二

吉

夢裏欠祥來起數  
會見人情不和睦  
是非口舌要防閑  
自此禍消轉成福

るあゝあゝあゝ  
そゝあゝあゝ  
あゝあゝあゝあゝ  
あゝあゝあゝ  
あゝあゝあゝ  
あゝあゝあゝ  
あゝあゝあゝ  
あゝあゝあゝ  
あゝあゝあゝ  
あゝあゝあゝ

秋叔占此數來奇

あきとさあゆと  
うあふ

官鬼休囚福相濟

少

築場入穀豐登矣

此は、  
此の



吉

八千七百三十

悔

天

八千七百四十

吉

是非口舌貴提防

若不提防定有傷

內裏有人多起病

三思迴避得安寧

君問天花數不防

天花無雨又无霜

又遇王母蟠桃日

定主文書福壽長

是非口舌貴提防

若不提防定有傷

內裏有人多起病

三思迴避得安寧

君問天花數不防

天花無雨又无霜

又遇王母蟠桃日

定主文書福壽長

求

八千七百五

吉

事

八千七百六

吉

求子白之數未然

六人無子枉熬煎

人說花多稀結子

若還有妾女胎先

禍退官司便得安

子孫持世遇傷官

只有庚午戊巳日

雲收雨散見青天

求子白之數未然

六人無子枉熬煎

人說花多稀結子

若還有妾女胎先

禍退官司便得安

子孫持世遇傷官

只有庚午戊巳日

雲收雨散見青天



清明

百五

此

福神臨應數為奇

みちのこ

八千

出行任意往東西

あそび

七百

若是庚辰十分利

あそび

七百

如逢己亥見間非

あそび

八百

子孫持世旺生徒

あそび

七百

尋館占之洵義夫

あそび

八百

教育英才三樂也

あそび

八百

賓主相諧贊礼学

あそび

吉

分家占得地夫泰

あそび

八百

福相妻才利禄歸

あそび

一

若是不分見口古

あそび

吉

分居之後長光輝

あそび

八百

移居徒自在心機

あそび

八百

世應逢官未可移

あそび

二十

守舊安心方是美

あそび

四十

不依數斷有灾非

あそび



清明

皇十七

買田

子孫臨應旺田庄

田庄

八百

買田園大吉昌

大吉昌

三百

雖則買時防口舌

防口舌

吉

買成之後福源長

福源長

買屋

君來起數欲成屋

欲成屋

八百

主見爭價有不睦

有不睦

四百

隔角重逢數不安

重逢數不安

四

只立退步免勞碌

免勞碌

病

妻病無傷庶免憂

庶免憂

八百

只因氣食損精神

損精神

五十

服藥不如能戒氣

能戒氣

吉

自家調理卻灰塵

卻灰塵

病

起數問恙少安寧

少安寧

八百

吐瀉腸疼寒熱驚

寒熱驚

六十

作福退星須保護

須保護

吉

可以无虞福壽亨

福壽亨



病

嚴父慈母志無傷

しんまのりるあ  
まのりるあ

八千八百七十七

應逢官鬼喜相長  
只請東南醫者効

のこゝろをわきま  
けりしものさのりあ  
きなりてう

音

十朝半月便離床

廿四

病

兄弟之病免憂心

とらふがのちうと  
おかしうもけり

八百

起數應知禱福神

歩にやうせう

八

客畔水神冲有書

わうらうらうら  
うらうらうら

吉

破此財帛便身軀

[illegible]

貞享四年

風月無雙

閨媛



